

・ その他の危険有害性情報の「見える化」

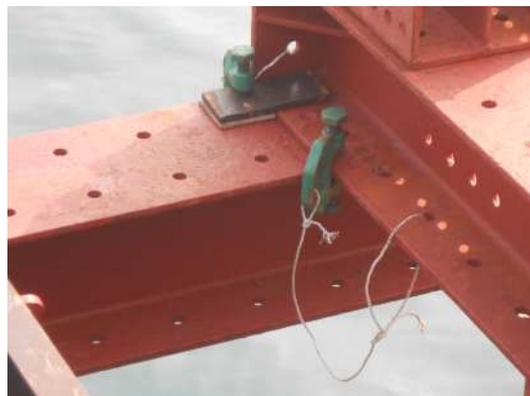
仮設挟締付金具管理 の「見える化」

仮設構台や山留鋼材類を固定する方法はボルト接合や溶接などありますが仮設の場合は取付取り外しの簡単な挟締付金具が多く用いられます。

ボルト接合の場合はマーキングして緩みを目視確認出来ますが
挟締付金具を使用する場合は、マーキング出来ないため緩みを見落とし易くなります。

挟締付金具を一度締付した後 クレモナ紐で鋼材の孔と結んで留める時に緩みの確認を行い
もしも挟締付金具が緩んでも クレモナ紐で結んでいるので落下防止となります。

落下防止用のクレモナ紐結びが、確認したことの形として残り 見える化出来ています。



挟締付金具と鋼材をクレモナ紐で結ぶ